

委員報告

一般会計予算決算審査 特別委員会

平成29年6月20日に委員会を開催し、付託された議案について、関係部課長から細部にわたり内容の説明を求め慎重に審議の結果、意見書を付し原案のとおり可決すべきものとして決定しました。

議案第48号「平成29年度御前崎市一般会計予算の補正（第1号）」について

【教育総務課】

国及び県などに対して、補助金・交付金について積極的なアプローチを図り予算確保に努めるよう求める。

【社会教育課】

助成金の不採択による歳入欠陥に係る事務手続きは、教育行政を司る立場にありながら誠に遺憾である。自らの職責を自覚した事務執行を強く求める。

原子力対策 特別委員会

平成29年6月21日に委員会を開催しました。

今回の委員会では、中部電力㈱に対し次の3点について報告を求めました。

- ① 改正原子炉等規制法に対応する保守点検体制について
- ② 原子力発電の必要性に関する広報活動について
- ③ 1・2号機廃止措置に対する物量・エリア別の進捗管理計画について

また、委員会に浜岡原子力総合事務所長や市長も出席し最近の不

適合事象についての説明を受け質疑を行いました。委員会で

の審議の結果、中部電力㈱に対して6月29日に、要請書を提出しました。



中部電力㈱へ要請書を提出

【要請事項】

- (1) ヒューマンエラーを含めたトラブル発生 の撲滅について
- (2) 戦略的な広報広聴活動の実施について
- (3) 廃止措置工事の着実な実施について

要 請 書

御前崎市は約半世紀にわたり、国のエネルギー政策、原子力政策に理解・協力し、浜岡原子力発電所を受け入れ、エネルギーの安定供給、東海地方のものづくり産業の電力需要を支えてきた。

浜岡原子力発電所の運転停止から既に6年が経過し、市民の原子力発電に対する意識や関心が低いことは、昨今のアンケート調査等においても明らかであり大変危惧している。

現在、浜岡原子力発電所では、新規制基準への適合性を踏まえ、また、世界一安全な発電所を目指し、安全性向上対策を進めているところではあるが、近年、トラブルが頻繁に発生している。いずれも重大な事態には至っていないものの、地域住民の安心や信頼という観点では、看過できない状況であり、これまで共存共栄・共存共生という精神でともに歩んできた御前崎市としては、誠に遺憾である。

一方、1・2号機の廃止措置工事については、国内初の軽水炉での廃止措置ということで全国的にも注目されている。廃止措置工事については、平成48年度まで長期にわたる工事となることから、計画通り着実に工事を進めていくことが重要と認識している。

ついては、国策である原子力政策を受け入れ、地域の発展と原子力発電所との共生を選択してきた本市の切なる思いを真摯に受け止め、引き続き、地域住民の安全・安心ならびに信頼の確保に努めるとともに、次に掲げる事項について、全力を挙げて取り組むことを強く要請する。

平成29年6月29日

総合開発計画策定 特別委員会

平成29年6月21日に委員会を開催し、浜岡保育園の民営化、火葬場の位置決定についての意見書を執行部へ提出しました。

1 浜岡保育園の民営化について

6月の定例会で浜岡保育園の建設用地購入が可決されました。

平成32年4月1日の新保育園開園を目指し、民営化に向けての具体的な提案（新保育園の規模、公設民営と民設民営の比較、民営化移管先事業者、今後のスケジュール）がありました。

今年度は、用地購入、造成工事設計、土壌調査、民営化を移管する事業者による基本設計を進めていくと執行部より説明がありました。

今後、民営化の事務作業を進めるにあたって、保護者や保育園の職員に丁寧な説明をするよう執行部に求めました。

2 火葬場の位置決定について

火葬場の位置については、まだ決定していません。6月に火葬